

化三年七月七日の大風雨に加茂川洪水し翌八日の曉三條五條の大橋同時に損じ落ぬ延寶百六十餘年の珍事也

〔今日抄孝一明〕嘉永三年九月三日京師大雨風鴨川大溢流五條橋二十間許倒其石架及三條石架

五年七月二十二日山城丹波大和大風雨鴨桂淀木津諸川大溢皆決流三條橋十八間

四條橋

〔山州名跡志四上愛宕郡〕四條橋 何ノ世ヨリヤ板ヲ抛渡シテカクル土人云此地祇園神ノ領地ナリ

神此橋ノ全ク宜ヲ嫌ヒタマヘリ改造レバ即崩ルト此義非也古橋アリ和漢合運云寶徳二庚午年四條河原成大橋云々

〔京羽二重四橋〕四條板橋 四條加茂川ニ有久壽年中には祇園橋ト云古記に見えたり寶徳二年

大橋成ト改曆雜事記に見えたり

〔百練抄十三後堀河〕安貞二年七月廿日風吹雨澤洪水泛溢四條五條等末橋流了

〔橋窻自語下〕むかし貞和五年戊六月十一日祇園執行行意西源院本太四條橋をかけたはじめ新

座本座の田樂を興行し老若男女棧敷をうちて見物群集せしといふことあり

〔看聞日記〕永享八年七月十二日陰雨時々降中洪水出四條橋落了人流云々

〔祇園社記〕寶徳二年六月七日十四日兩日ナガラ四條橋ヲ還幸同以下此橋ヲバ地下人正等入道

カケ申四月ヨリ六月六日マデカケ畢橋アタラシキニ依テ兩日共ニ相違ナリ又見東寺執行日記

〔都のにぎはひ〕按るに應安七年二月掛渡したる橋はいつの比亡びしや不知應安七年より寶

徳二年まで七十七年

○按ズルニ應安七年ニ造リシ橋ハ永享八年ノ洪水ノ爲ニ落チシ由前條引ク所ノ看聞日記

ニ見エタルヲ本書ニハ漏セルナリ

〔萬山編年精要〕寛正二辛巳年三月廿二日有欽命云爲四條橋上餓死亡魂自建仁寺營施餓鬼之會